

小児整形外科

1. スタッフ (2020年4月1日現在)

科長 (学内教授) 吉川 一郎
 医員 (准教授) 渡邊 英明
 医員 (病院助教) 滝 直也

2. 診療科の特徴

(診療科内容)

小児の脊椎、骨、関節、筋その他の運動器に生じる疾患や外傷に対する診療を行なっています。

以下に主な対象疾患を挙げます。

脊椎および脊髄疾患 (腰痛症、椎間板ヘルニア、脊椎分離症すべり症、脊柱側弯症、後弯症、先天性側弯症、二分脊椎など)、斜頸、スプレングル変形、多合指・趾4症、野球肘、股関節疾患 (先天性股関節脱臼、ペルテス病、大腿骨頭すべり症など)、膝関節疾患 (Blount病を含むO脚・X脚変形、離断性骨軟骨炎、円板状半月など)、足部疾患 (先天性内反足、麻痺性足部変形など)、多発性関節拘縮症、骨系統疾患、骨代謝疾患 (くる病など)、骨関節感染症などです。

(当科の特色)

1; 脊椎疾患

小児整形外科では、センター設立以来、小児脊柱変形 (側弯症、後弯症) の治療に最も力を入れております。特に近年では症候性側弯症 (脳性麻痺やMarfan症候群などに伴う) の治療も増えてきました。

また幼児期側弯 (Early onset scoliosis) に対しても積極的に全身麻酔下にギプス矯正治療をおこなっている全国でも数少ない施設の一つです。症例が徐々に蓄積しているためにこれまでのように1症例に2回2週間ずつギプスを巻くということが手術枠に限りがあります。そのために3~4週間1回のみギプス巻に変更しておりますことと季節では春と夏、初秋には暑くてギプスはつらいことから秋中旬から冬、初春の間に限定されます。今年7件でした。また、重症な側弯のお子さんには麻酔なしでも側弯矯正ギプス巻きをおこなっており、昨年は2件でした。

2: 足部疾患、股関節疾患

吉川、渡邊は、これまでと同じく先天性内反足、麻痺性足部変形の診断と治療も専門の一つとしており、その診断と治療を積極的におこなっております。幼少児の軟部組織解離術はもとより思春期や成人の麻痺性足部変形に三関節固定術も積極的に行っております。また、近年では脳性麻痺や特発性の白蓋形成不全症に対する骨盤骨切り術症例も増加しております。

また、毎週月曜日夕方、一週間ごとに放射線科のス

タッフと外来および入院症例のケースカンファランスを行っています。また、2か月に一度、小児リハビリテーションスタッフと小児リハビリテーションカンファランスをおこなっております。

・専門医

日本整形外科学会専門医 吉川 一郎
 渡邊 英明
 日本整形外科学会脊椎脊髄医 吉川 一郎
 渡邊 英明

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数	370人
再来患者数	4,712人
紹介率	91%

(外来担当医師)

吉川一郎：脊椎外科、小児足部疾患、小児整形全般
 渡邊英明：脊椎外科、小児足部疾患、小児整形全般
 滝 直也：小児足部疾患、小児股関節、小児整形全般

2) 手術症例病名別件数

病名	件数
側弯矯正、後弯矯正手術	9件
胸椎前方固定術	1件
脊柱側弯症全身麻酔下ギプス巻	7件
先天性股関節脱臼観血的整復術	5件
骨盤骨切り術 (Triple osteotomyなど)	1件
股関節周囲筋解離術 (脳性麻痺)	2件
大腿骨骨切り術 (ペルテス、DDH、CP)	10件
下腿骨切り術、足部骨切り術	8件
先天性内反足、麻痺足手術	9件
足趾形成手術	3件
足部腱移行術	3件
足部三関節固定術	1件
筋性斜頸	4件
スプレングル変形矯正手術	1件
全身麻酔下脊髄造影	1件
膝関節形成術	1件
骨内異物除去術	18件
成長抑制術	2件
アキレス腱延長術	3件
観血的整復・固定術 (脱臼、骨折)	5件
脚延長術	3件
断端形成術	2件

多合指・趾症手術	3件
腱鞘切開術	4件
外骨腫切除術	4件
骨生検手術	2件
その他	2件
合計	114件

3) 化学療法症例・数 なし

4) 放射線療法例・数 なし

5) がん治療 行っていない

4. 2020年の目標・事業計画等

子ども医療センターで、月曜日午前、午後と木曜日午前中に一般外来診療を行っています。また、木曜日午後と渡邊と滝が「小児の足外来」をおこない、主に先天性内反足のギプス巻き外来を行なっております。

また、月1回の「二分脊椎外来」も子ども医療センター各科と連携して行っております。また、難度の高い脊柱側弯手術を安全かつより良い変形矯正が得られるようにおこなって高度医療機関としての役目を果たすこととこれまで同様に先天性内反足や麻痺性足部疾患など専門性の高い疾患の治療を継続していくことを目標に考えています。

今後の展望についてですが、当科専任医師が3人しかいないのにも関わらず、当科は週2日間、終日小児リハビリテーション前外来（30年10月より週一日半になりました）と週2日間の小児リハビリテーションコンサルトを兼務していること、手術日が週一回の金曜日終日と月一回の水曜日午前中（27年10月より運営開始）、月一回の第4水曜日終日（30年10月より運営開始）と手術日が増えたこと、整形外科教室の学生指導を一緒に分担していることなどから毎日、多忙を極めております。しかしながら、紹介手術患者は群馬県や福島県などの近隣県からも増えてきております。外来患者に関しては、全国区であります。このようななかで、当科がおかれております前述した厳しい労働環境のなかで、それでも患者と保護者のかたの高度な医療内容の需要に可能な限り、応えられるように努力を継続してまいります。